

みんなで取り組む有害鳥獣対策

～有害鳥獣対策の現状と今後の対策～

問 産業課 農林係 ☎0266-62-9232

● 捕獲目標 シカ200頭増 サル60頭増 (H27年度)

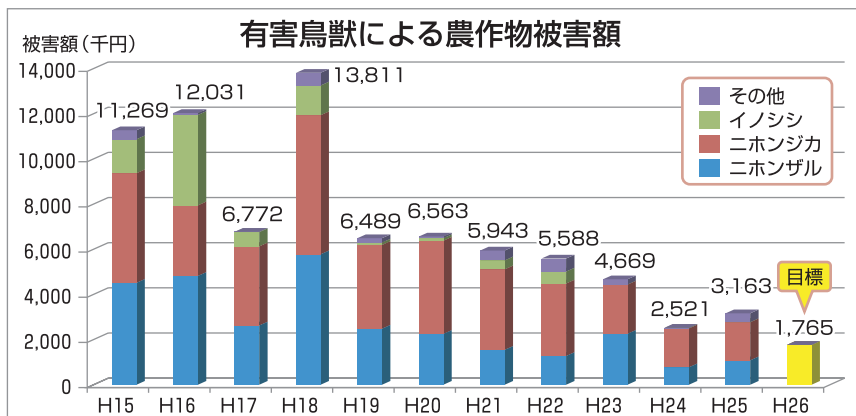
有害鳥獣対策は、町外周の電気柵が完成し外からのサル、シカなどの侵入は減ってきました。また、被害額も表の様に年々減少しています。しかしながら多くの町民からはその「実感がない」との声が多く寄せられているのが現状です。電気柵内（田畑周辺）におおむねシカ1200頭、サルの群れが4つ以上存在し農作物を荒らしています。そこで、次年度からは電気柵内の有害鳥獣駆除に力をいれます。シカはくり罠の増加60個から200個、サルは大形捕獲檻を2ヵ所設置します。捕獲目標は農地付近でのシカ駆除数200頭の増、サルは60頭の増を目指します。

餌となる廃棄農作物の処分や日々の追い払いなども被害減少につながりますので、町と住民との協力により被害を減らしていきましょう。



▲来年度導入予定のサル捕獲用大型檻

● 被害額の状況



被害額は、平成18年度をピークに減少しています。しかし、被害が日常的になってしまい耕作をやめてしまう田畑も見られ、そのことが被害範囲を拡大させる要因の一つとなっています。

※対策を行う上でも被害状況や鳥獣の生息数の正確な情報が必要となりますので、農作物の被害や有害鳥獣の出没状況の報告を農林係または区・集落組合役員の方までご報告をお願いします。

● サル対策にご協力を!

富士見町では近年サルの出没地域が拡大しており、個体数の増加も懸念されています。

サルを見ても放っておくと、サルが人や集落に馴れ、出没回数が増えたり農地への滞在時間が長くなったりします。また、人に対しての威嚇や家屋への浸入など生活被害や人身被害にもつながってしまいます。出没地域の拡大や生活被害や人身被害を防ぐためにもサルを見たら必ず石を投げたり、ロケット花火を打つなどして追い払いを行うようにしてください。

● 電気柵および被害地位置図



▶ 有害鳥獣対策協議会の様子
地区ごとに情報交換を実施

●富士見のジビエをブランドに

町猟友会が中心になり新たに食肉加工施設「信州富士見高原ファーム」を建設しました。「信州富士見高原ファーム」では、おいしい富士見のシカ肉やイノシシ肉を首都圏のレストランに提供し、富士見ブランドとして有名ブランドに育てていく予定です。先日在日フランス人シェフ・パティシエ協会関係者をお招きし富士見産ジビエ試食会を開催しました。会長からは、シカ生肉に高い評価をいただき、信州富士見高原ファームに大きな期待を寄せられました。富士見産ジビエの今後に期待するところです。町民のみなさんのご支援をお願いします。

長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」で富士見高原ジビエのPRを実施



在日フランス人シェフ・パティシエ協会と信州高原ジビエ試食会を開催



●狩猟者確保について

増えすぎた野生鳥獣による農作物被害を減らすためには、個体数の調整も重要です。町では富士見町猟友会に委託し駆除を行っていますが、有害鳥獣駆除従事者の確保が課題となっています。

そこで町では、猟友会の育成と狩猟者確保を目的として、猟友会員の会費補助（10,000円/年）や新規に銃砲所持許可を取得した者に対して取得経費の補助（30,000円）を行っています。またシカやサルの駆除には、実績に応じそれぞれ報奨金が支払われます。多くの方の有害鳥獣駆除へのご参加、ご協力をお願いします。



▲捕獲専門員による銃器を使用した捕獲の様子

今年度は次の日程で狩猟免許試験が行われます。

1. 狩猟免許試験開催日および場所
平成27年2月21日(土) 諏訪合庁
2. 初心者講習会開催日および場所
平成27年2月14日(土) 諏訪合庁
3. 申し込みについて
【受付場所】：役場産業課 農林係
【受付期間】：平成27年1月19日から
1月30日まで

申し込み方法等の詳しい内容については、役場産業課 農林係までお問い合わせください。

有害鳥獣駆除に取り組むため、罠の免許を取得する方が増えています。



◀罠設置の様子